

**ボッシュ株式会社** 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利  
用はできませんのでご了承ください。

1 619 JT1 995 (09.02)

## 給水ポンプ 2 608 190 048



### 取扱説明書

このたびは、弊社給水ポンプをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
います。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお  
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。  
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



# 目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
給水ポンプの注意事項	3
●本製品について	
用途	5
仕様	5
各部の名称	6
●使い方	
位置決めガイド取り付け・取り外す	7
給水ポンプを準備する	13
作業する	15
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	17
ご相談窓口	18
●お手入れと保管	
お手入れ	19
保管	19

ご安全  
上  
意の

つ本  
製  
い  
品  
てに

使  
い  
方

困  
っ  
た  
と  
き  
は

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

# 安全上のご注意

## ご安全上の注意

- ◆ 火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

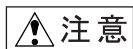
## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




**警告**

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 給水ポンプについての注意事項

ご安全  
注上  
意の

### 1. 毎回の使用前に給水ポンプに損傷がないか、確認してください。

- ◆ 給水ポンプに損傷がある場合は、新品と交換してください。

### 2. 圧力コンテナに傷や原因不明の圧力不足などがないか、確認してください。

- ◆ 圧力コンテナに傷や原因不明の圧力不足がある場合は使用を中止し、新品と交換してください。

### 3. 輸送中や使用中、圧力コンテナに過剰な圧力や力を加えないでください。

- ◆ 使用中や輸送中に過剰な圧力や力が加わったり、不適切な保管方法や手入れの不備などで、給水ポンプの寿命が短くなる場合があります。

### 4. 給水ポンプにはきれいな水道水を入れてください。

- ◆ きれいな水を使用することで、給水ポンプや位置決めガイドの目詰まりを防げます。

### 5. 水が入ったままの給水ポンプが凍らないよう注意してください。

保管の際には必ず水を排出して、圧力を抜いてください。

- ◆ 水を排出して、圧力を抜かないと、保管中圧力コンテナが損傷する可能性があります。

### 6. 給水ポンプを使用するときは、必ずバテリードリルを使用してください。

- ◆ コード付きドリルを使用すると、感電の危険が高くなります。  
ドリルと周辺機器については、必ずそれぞれの安全のための注意事項と取扱説明に従ってご使用ください。

### 7. 最大無負荷回転数が毎分1500回転以下のバテリードリルを使用してください。

- ◆ 先端工具が損傷したり、けがの原因になります。

8. バッテリー振動ドリルを使用するときは、作業モードを“回転＋打撃”モードに設定しないでください。

◆ 部品が損傷したり、けがの原因になります。


9. 安全メガネやゴーグルを使用してください。

◆ 加工材から跳ねた破片が目に入るのを防ぎます。

# 本製品について

## 用途

◆ 磁器タイルや石器タイルなど、タイル全般に穴あけするときの冷却水供給

 別途、ダイヤモンドドリルビット用位置決めガイドまたは、ホールソー用位置決めガイドが必要です。

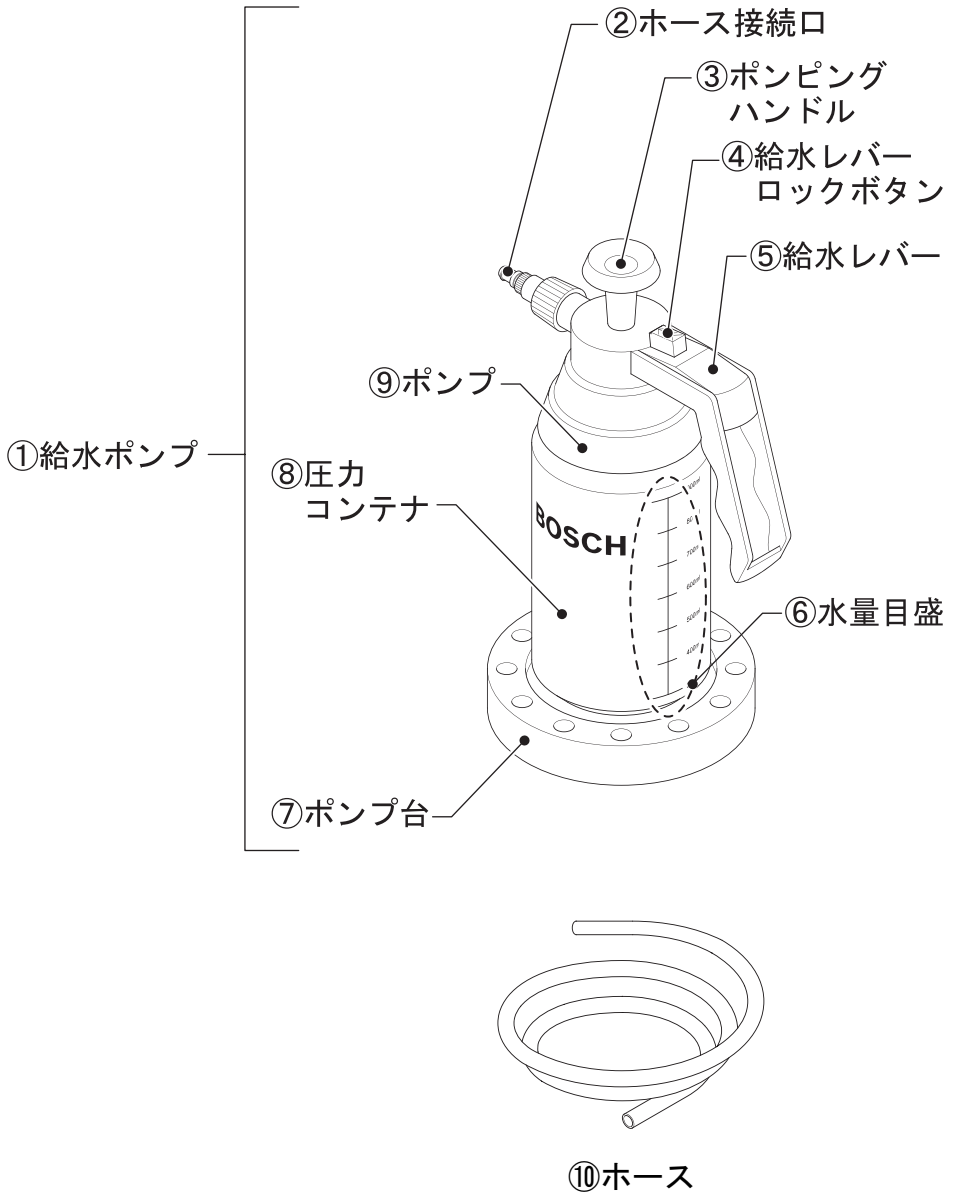
本  
製  
品  
に  
つ  
いて

## 仕様

型番	2 608 190 048
最大水量	900 ml
最高水温	40 °C
接続ホース長さ	1.8 m
質量	300 g (圧力コンテナが空のとき)

# 各部の名称

本製品に



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

# 使い方

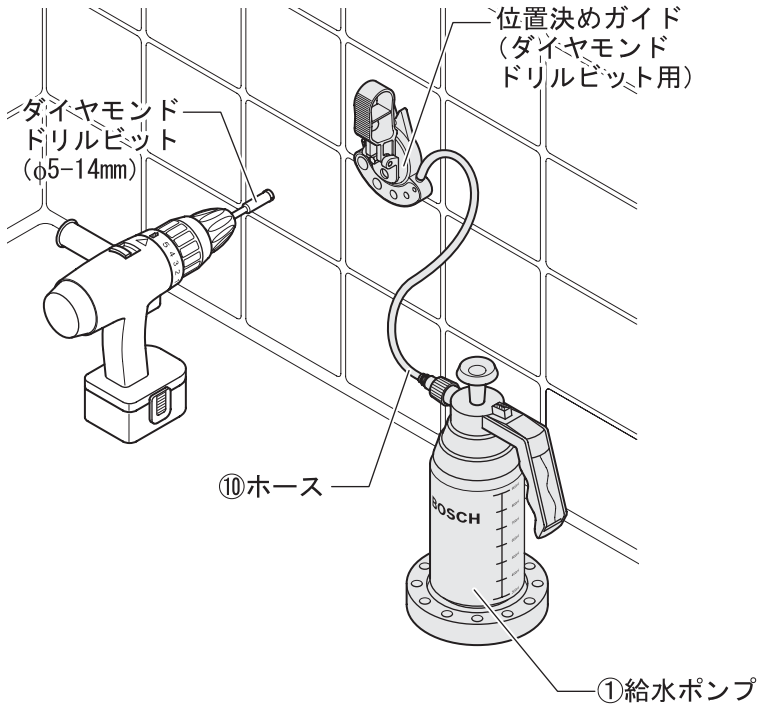
あけたい穴のサイズに応じて、適切な工具・アクセサリーを使用してください。

## 位置決めガイドを取り付ける・取り外す

### ● ダイヤモンドドリルビット用位置決めガイドを取り付ける・取り外す

ダイヤモンドドリルビット用位置決めガイド：型番 2 608 598 142

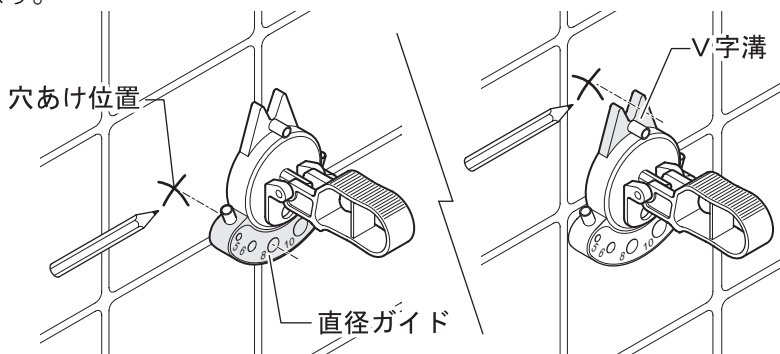
使用できるダイヤモンドドリルビットの寸法：φ5～14mm



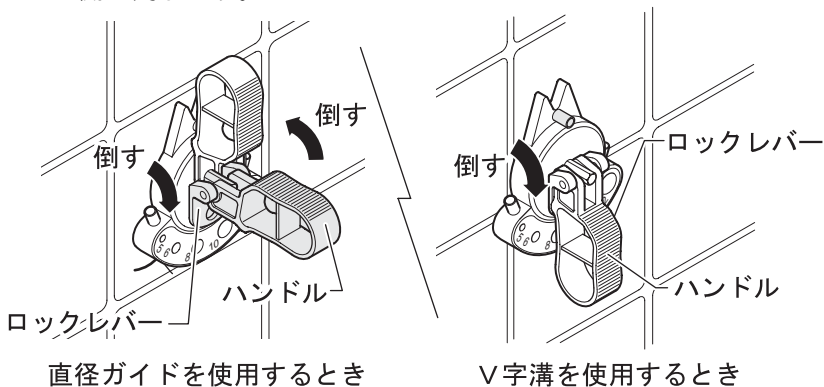


## 取り付け

1. 穴をあける位置に印をつけます。
2. 位置決めガイドの直径ガイドまたはV字溝を、1項でつけた印に合わせます。

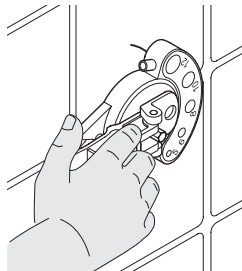


3. 直径ガイドを使用して穴あけをするときは、ハンドルをV字溝側に倒し、ロックレバーを直径ガイド側に倒します。  
V字溝を使用して穴をあけるときの、ハンドルとロックレバーを直径ガイド側に倒します。

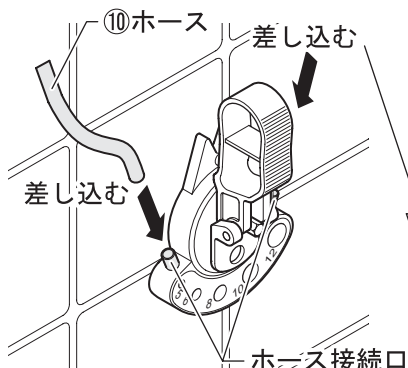


位置決めガイドが真空状態になり、加工材に吸着します。

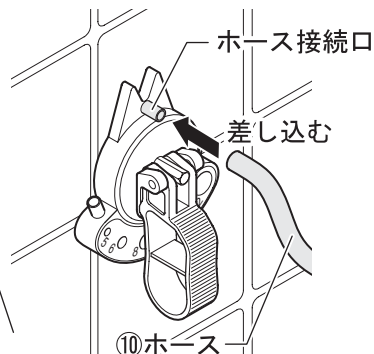
加工材表面の構造により、真空式で固定できない場合は、位置決めガイドを手で保持して作業してください。



4. ホース⑩を位置決めガイドのホース接続口に差し込みます。  
 ホース接続口は3箇所あります。  
 直径ガイドを使用して位置決めしたときは、直径ガイドのホース接続口（2箇所のうちどちらか一方）に接続してください。使用する穴に近い側、または横向きに位置決めガイドを固定しているときは上方の接続口にホース⑩を差し込んでください。  
 V字溝を使用して位置決めしたときはV字溝のホース接続口にホース⑩を差し込んでください。



直径ガイドを使用したとき

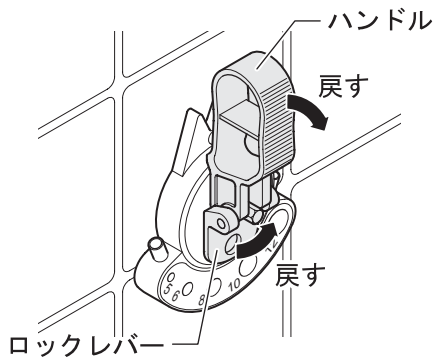


V字溝を使用したとき

使  
い  
方

## 取り外し

ハンドルを中央に戻し、その後ロックレバーを中央に戻します。

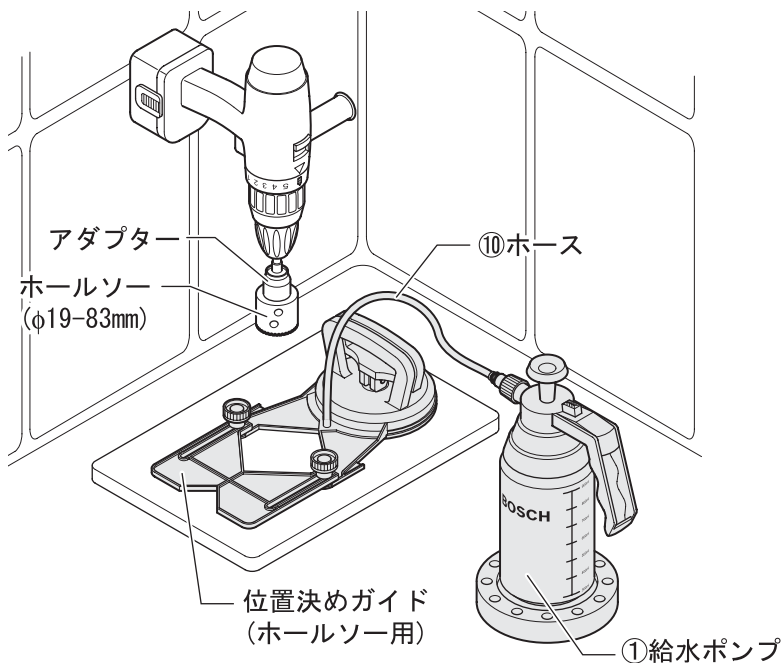


## ● ホールソー用位置決めガイドを取り付ける・取り外す

ホールソー用位置決めガイド：型番 2 608 580 327 (2009年3月現在未発売)

ホールソー用アダプター：型番 2 608 584 844 (2009年3月現在未発売)

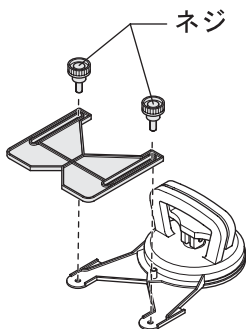
使用できるホールソーの寸法：φ19～83mm



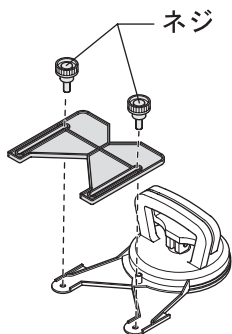
使  
い  
方

### 取り付け

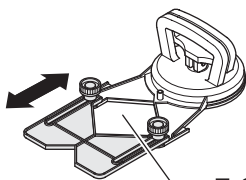
1. 使用するホールソーの直径に合わせて、位置決めガイドを調節します。位置決めガイドはネジを緩めるとスライドでき、ネジを外すと分解できます。ホールソーのサイズに合せてガイドの向きや位置を調節し、調節が終わったらネジを締め付けて固定してください。



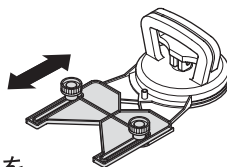
直径が 35 ~ 83mm の  
ホールソー使用時の  
組み付け向き



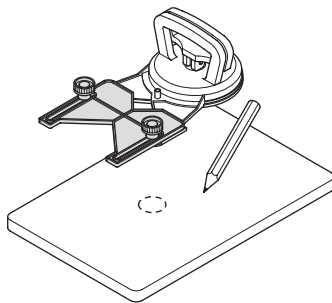
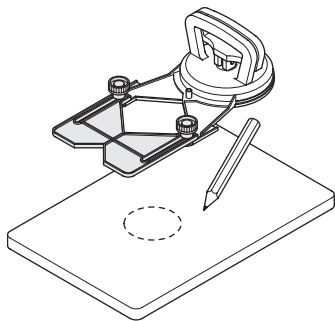
直径が 35mm 以下の  
ホールソー使用時の  
組み付け向き



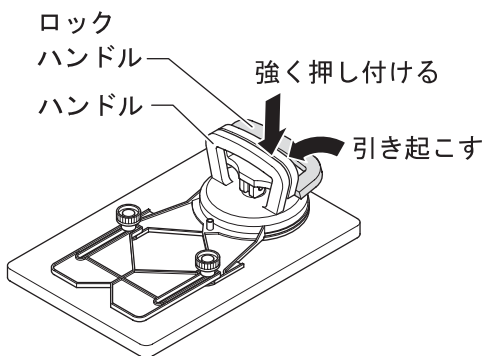
この枠の寸法を  
ホールソーの  
サイズに合わせる



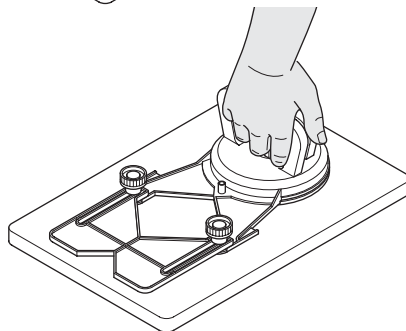
2. 穴をあける位置に印をつけます。
3. 位置決めガイドの枠を、2項でつけた印に合わせます。



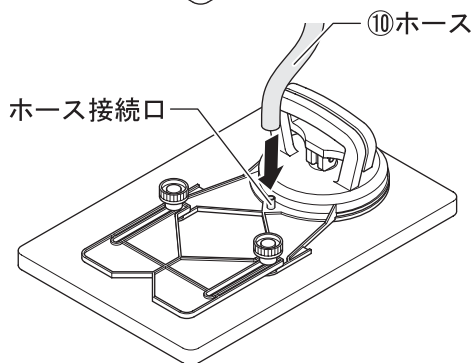
4. タイルに位置決めガイドを強く押し付け、ロックハンドルをハンドル側に引き起こします。位置決めガイドのラバーが真空状態になり、加工材に吸着します。



加工材表面の構造により、真空式で固定できない場合は、位置決めガイドを手で保持して作業してください。

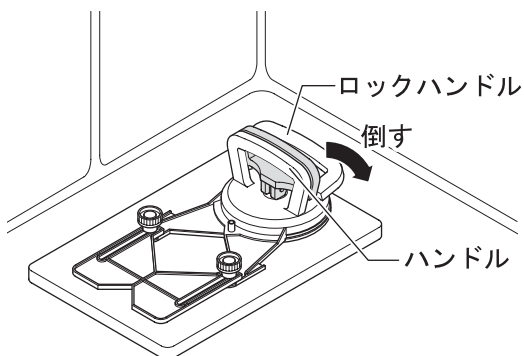


5. ホース⑩を位置決めガイドのホース接続口に差し込みます。



## 取り外し


ロックハンドルを位置決めガイド本体側に倒します。



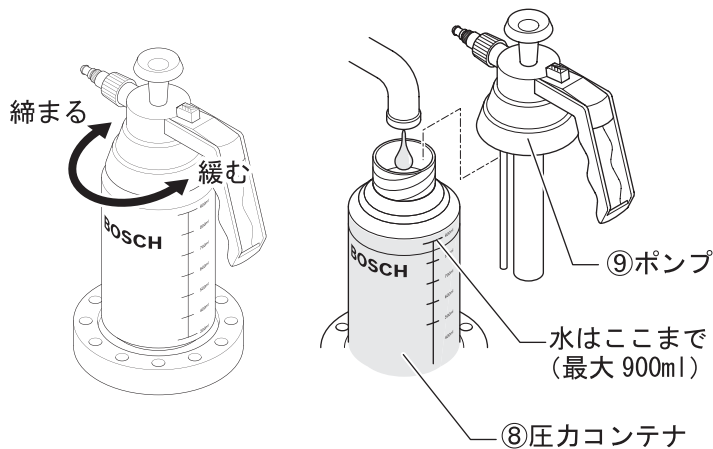
## 給水ポンプを準備する

### ● 給水ポンプに水を入れる

1. ポンプ⑨を反時計方向に回して緩め、圧力コンテナ⑧から取り外します。
2. きれいな水道水を圧力コンテナ⑧に入れます。（タンク容量 900 ml）
3. ポンプ⑨を圧力コンテナ⑧に戻し、時計方向に回して締め付けます。

 ポンプ⑨を緩めたり締めたりするときポンプ台⑦を持って回すと、ポンプ⑨と圧力コンテナ⑧が一緒に回ってしまうことがあります。ポンプ⑨を緩めたり締めたりするときは、圧力コンテナ⑧を持って作業してください。

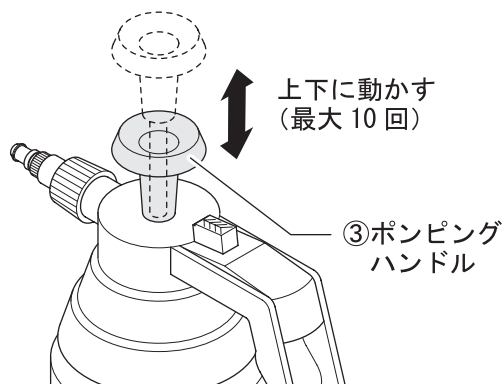
使  
い  
方



## ● 給水ポンプに圧力をかける-ポンピング

ポンピングハンドル③を上下に動かして、圧力コンテナ⑧内に圧力を掛けます。

- ☞ ポンピングは 10 回までにしてください。  
圧力が掛かり過ぎると危険です。

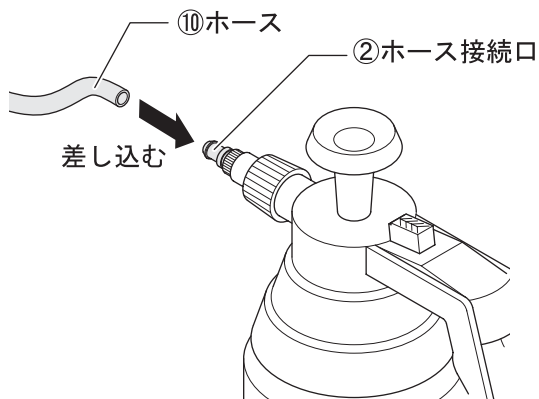


使  
い  
方

## ● 給水ポンプにホース⑩を接続する

位置決めガイドに接続したホース⑩の一方を、給水ポンプ側のホース接続口②に差し込みます。

- ☞ ホースはしっかり差し込んでください。



## 1 バッテリドリルを点検・確認する

下記を点検・確認してください。

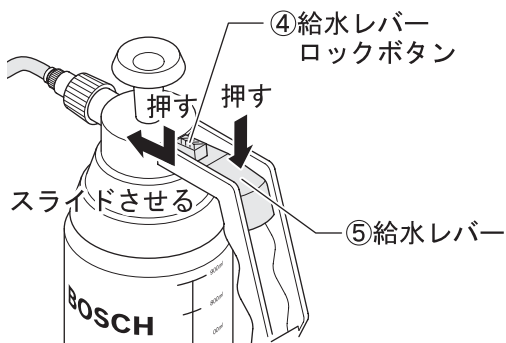
- ・先端工具は確実に取り付けられているか。
- ・回転数は  $1500\text{min}^{-1}$  (回転/分) 以下に設定されているか。または、回転数が  $1500\text{min}^{-1}$  (回転/分) 以下のバッテリドリルか。
- ・作業のモードは“ドリル”になっているか。

**注意** ◆ 毎分 1500 回転を超える速度や、“回転+打撃”モードでは使用しないでください。

## 2 水を流す

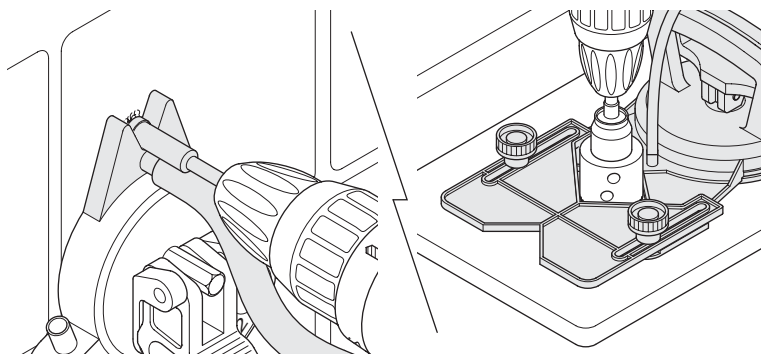
給水レバー⑤を押すと、給水を開始します。

給水レバーロックボタン④を下方に押し、前方にスライドさせると、給水レバー⑤をロックすることができ、連続給水できます。



使  
い  
方

## 3 穴をあける

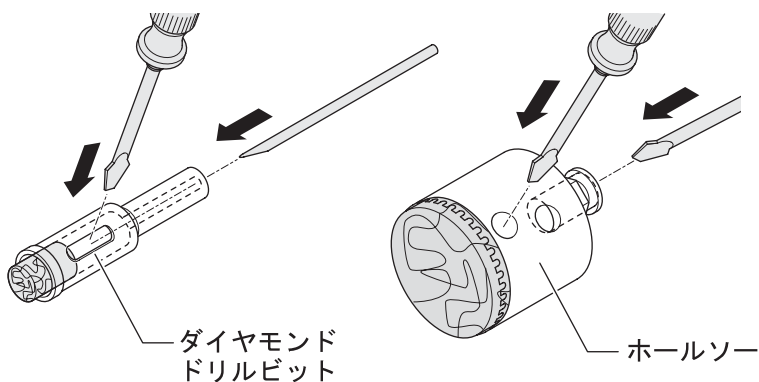




- ☞ ダイヤモンドドリルビット、ホールソーの寿命を短くしないためには、穴をあける個所を冷却し続ける必要があります。必ず冷却水を送りながら穴あけ作業を行ってください。
- ☞ 給水ポンプ内の水が減った場合、早めに満水状態にして、穴あけ作業中に水の供給が途切れないように注意してください。
- ☞ バッテリードリルや先端工具に負荷を掛け過ぎないように、少しずつ送り込むように穴あけ作業を行ってください。
- ☞ 上を向いての作業は絶対にしないでください。  
位置決めガイドには、収水機能がないため、穴あけ中のタイルの粉や冷却水がバッテリードリル全体に掛かってしまう可能性があります。
- ☞ タイルに穴が開いたら、直ちにダイヤモンドドリルビットをタイルから引き抜いてください。タイル裏の柔らかい材料（例：タイル接着剤、モルタル、レンガなど）に穴あけすると、ダイヤモンドドリルビットの寿命に悪影響を与えます。材料に適合した先端工具に取り替えて作業を続けてください。
- ☞ 位置決めガイド（ダイヤモンドドリルビット用）のV字溝を使用して作業するとき、ダイヤモンドドリルビットがタイル表面で滑り、位置決めが難しいことがあります。そのようなときは、先端をやや傾けて穴あけ作業を開始すると作業しやすくなります。  
直径ガイドを使用するのも滑り止めに効果があります。

#### 4 ドリルビット・ホールソー内に残った材料を除去する

一個所穴をあけるごとに、ダイヤモンドドリルビット、またはホールソーの中に詰まった材料を取り出してください。  
先端のとがった工具などを、ダイヤモンドドリルビット、またはホールソーの後ろまたは横から差し込み、中に詰まっている材料を押し出します。



# 困ったときは

## 故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
ポンピングハンドル③を上下に動かしても、圧力が掛からない	ポンプ⑨が圧力コンテナ⑧にしっかり締め込まれていない	ポンプ⑨をしっかり締め込む
圧力コンテナ⑧に水がある状態で圧力をかけたが、給水レバー⑤を押しても水が出ない	ホース接続口やホースに異物が詰まっている  ホースがねじれている	異物を取り除く  ホースのねじれを取る

困ったときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

株式会社バンテックゼットロジ内

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

# お手入れと保管

## お手入れ

### ● 給水ポンプを乾燥させる

使用後は、必ず給水ポンプを乾燥させてください。

1. 給水レバー⑤を押して、給水ポンプ内の圧力を完全に抜きます。
2. ポンピングハンドル③を止まるまで押し下げます。
3. ポンプ⑨を反時計方向に回して緩め、ポンプ内に残った圧力を抜きます。
4. ポンプ⑨を圧力コンテナ⑧から外します。
5. 圧力コンテナ⑧内の水をすべて排出します。
6. 給水ポンプ①を空気乾燥させます。

## 保 管

### ● 給水ポンプを使った後は、きちんと保管する。

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、40℃以上になるところに置かない。
- 圧力コンテナに過剰な圧力や力を加えない。
- 必ず圧力を抜き、水を排出する。

